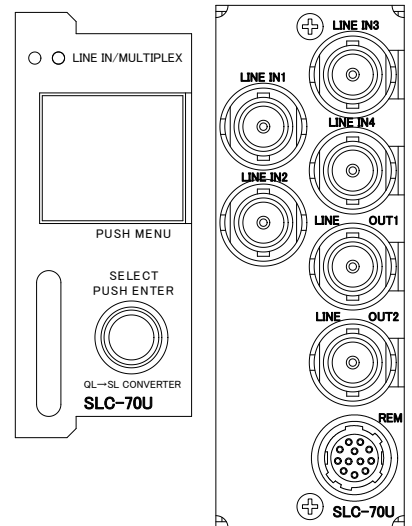


12G 対応 シングルリンクコンバーター
SLC-70U

SLC-70U は、Quad Link の信号を Single Link に変換する SDI マルチプレクサーとしてご使用いただけます。
 Quad Link の 3G-SDI 信号は 12G-SDI 信号へ、HD-SDI 信号は 6G-SDI 信号へ変換します。4 つの入力部には
 AVDL を搭載し、5 ラインの位相差を引き込むことができます。また、4:2 マトリックススイッチ機能を搭載し、
 AVDL 後の信号から 2 系統を出力することが可能です。

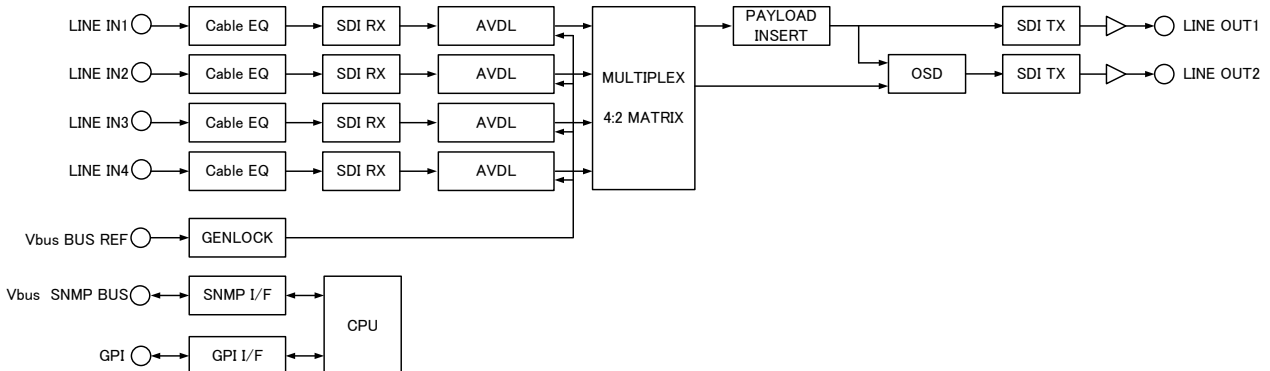
■ 特長

- ✓ Quad Link 3G-SDI から Single Link 12G-SDI にマルチプレクス ※1、※2、※3
- ✓ Quad Link HD-SDI から Single Link 6G-SDI にマルチプレクス ※1、※2
- ✓ 各入力部に 5LINE の AVDL を搭載 ※1、※4
- ✓ 入力信号のフォーマットに応じて 12G-SDI、または 6G-SDI に自動変換
- ✓ ペイロード ID 以外の ANC データは無加工で通過※5
- ✓ LINE IN1 に入力した信号を基準とした LINE ロックモードも可能 ※6、※7
- ✓ 入力信号の状態を SNMP、外部接点による監視が可能
- ✓ 正面ディスプレイで入力信号の引き込み状態を確認可能
- ✓ 設定により、LINE OUT2 にオンスクリーンメニュー表示が可能
- ✓ LINE IN1～2 に入力した 12G/6G-SDI 信号を入力した場合、AVDL を通過して、無加工で 12G/6G-SDI 信号を出力します。 ※8



- ※1. Quad Link 信号の位相差 5 ライン以内、かつ同期した信号を接続してください。
- ※2. Quad Link 信号は 2SI のみ対応です。SQD(Square Division)方式には対応していません。
- ※3. 3G-Level B 信号には対応しません
- ※4. Vbus 筐体に REF 信号を入力し、筐体内モジュールに REF 信号を分配する設定にしてください。
- ※5. ペイロード ID はデフォルト ID、カスタム ID を設定(AVDL モード、マルチプレクスモードのみ)可能です。
- ※6. LINE IN1 の信号を基準に、出力の位相を遅れ方向に約 5 ラインまで調整することができます。
 LINE IN1～LINE IN4 の信号の位相差が 5 ライン以内であれば、引き込むことが可能です。
- ※7. 4:2 マトリックススイッチ機能はリファレンス同期専用です。(LINE ロックモードには対応しません)
- ※8. LINE IN1 を LINE OUT1～2 に分配するモードと LINE IN1～2 をそれぞれ LINE OUT1～2 に出力するモードを選択できます。

ブロック図



定 格

入力信号 ・ LINE IN1~4	SMPTE 2082-1(TYPE 1 MODE1)/ 2081-1(TYPE 2 MODE1) /424M/292M準拠、0.8V _{p-p} /75Ω、BNC 4系統
出力信号 ・ LINE OUT1~2	SMPTE 2082-1(TYPE 1 MODE1)/ 2081-1(TYPE 2 MODE1) /424M/292M準拠、0.8V _{p-p} /75Ω、BNC 2系統
外部インターフェース ・ GPI	DIN-12pin 接点入力×4(各 12mA 最大定格) 接点出力×4(各 60V/200mA 最大定格)
映像フォーマット	2160p60/59.94/50 (12G-SDI MODE1 Y:Cb:Cr = 4:2:2 10bit) 2160p30/29.97/25/24/23.98 (6G-SDI MODE1 Y:Cb:Cr = 4:2:2 10bit) 1080p60/59.94/50 (3G Level-A) 1080p30/29.97/25/24/23.98 (HD-SDI) 1080sF30/29.97/25/24/23.98 (HD-SDI) 1080i60/59.94/50 (HD-SDI)
音声フォーマット ・ SDIエンベデッド	非圧縮リニア PCM 48kHz/24bit
質量	0.6kg
動作温度	0~40°C
動作湿度	20~80%RH(ただし結露なき事)
消費電力	20.0VA (5V, 4.0A)

性能

入力特性

・ LINE IN1~4

分解能	10bit
サンプリング周波数	12G: 594MHz・593.4MHz、6G: 297MHz・296.7MHz 3G: 148.5MHz・148.35MHz、HD: 74.25MHz・74.17MHz
反射減衰量	5 MHz~1.485GHz: 15 dB以上 1.485GHz~3GHz: 10 dB以上 3GHz~6GHz: 7 dB以上 6GHz~12GHz: 4 dB 以上

出力特性

・ LINE OUT1~2

分解能	10bit
サンプリング周波数	12G: 594MHz・593.4MHz、6G: 297MHz・296.7MHz 3G: 148.5MHz・148.35MHz、HD: 74.25MHz・74.17MHz
信号振幅	0.8V _{p-p} ±10%/75Ω
反射減衰量	5 MHz~1.485GHz: 15 dB以上 1.485GHz~3GHz: 10 dB以上 3GHz~6GHz: 7 dB以上 6GHz~12GHz: 4 dB 以上
立ち上がり/立ち下がり時間	12G: 45ps 以下 (20%~80%間)、6G: 80ps 以下(20%~80%間) 3G: 135ps 以下(20%~80%間)、HD: 270ps 以下(20%~80%間)
オーバーシュート	10%以下
DCオフセット	±500mV 以内
ジッター特性	
アライメント	12G/6G/3G: 0.3UI 以下、HD: 0.2UI 以下
タイミング	12G: 8.0UI 以下、6G/3G: 2.0UI 以下、HD: 1.0UI 以下

入出力遅延

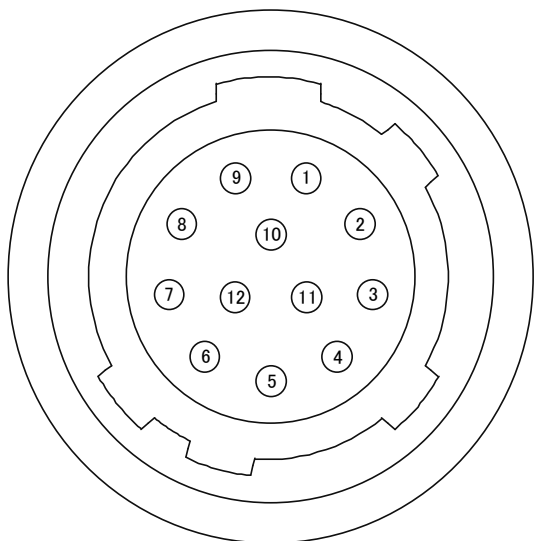
・ 映像遅延(AVDL時)	12G	: 約 2.0 μs ~ 10 ライン + 1.7 μs
	6G	: 約 4.9 μs ~ 10 ライン + 3.2 μs
	3G Level-A	: 約 2.2 μs ~ 5 ライン + 1.9 μs ※1
	HD	: 約 3.8 μs ~ 5 ライン + 3.2 μs ※2

※1 3G-SDI 信号を基準とした表記です。Quad Link を 12G-SDI にフォーマット変換すると、12G-SDI 信号基準では最大 10 ライン相当の遅延となります。

※2 HD-SDI 信号を基準とした表記です。Quad Link を 6G-SDI にフォーマット変換すると、6G-SDI 信号基準では最大 10 ライン相当の遅延となります。

GPI仕様

GPIコネクタはTAKE1～4(接点入力)、TALLY1～4(接点出力)の他、テスト用+12V、テスト用通信端子、接点出力コモンを配置します。



ピン番	I/O	信号
1	I	TAKE1
2	I	TAKE2
3	I	TAKE3
4	I	TAKE4
5	O	TALLY1
6	O	TALLY2
7	O	TALLY3
8	O	TALLY4
9	-	テスト用+12V
10	I/O	テスト用通信端子
11	I/O	テスト用通信端子
12	-	接点出力コモン

※推奨コネクタは、ヒロセ電機製：HR10A-10R-12Sです。

※接点出力の絶対最大定格は60V/300mAです。外部抵抗で電流を300mA以下に制限してください。

※接点入力のパルス幅は100ms以上となるようにしてください。

※TTL信号で接点制御する場合は、吸い込み電流が12mA以上のデバイスで駆動してください。

※接点入力は後取り優先です。オルタネイト設定においても、その他のリモコン、SNMP、正面スイッチ等で制御した場合は、それらの制御を優先します。

※外観および仕様は変更することがあります。